

北海道農業・農村の概要

北海道農政部より発表されている「北海道農業・農村の概要」が、平成26年5月に更新されましたので紹介いたします。

[平成26年5月 北海道農政部]

北海道農業の地位・特徴

●北海道においては、全国の約4分の1の耕地面積を生かし、稲作、畑作、酪農などの土地利用型農業を中心とした生産性の高い農業を展開。

●平成24年の農業産出額は、10,536億円で全国の約12%を占める。

●本道農家の一戸当たり耕地面積は、都府県の約15倍にあたる23.2ヘクタール、販売農家に占める主業農家の割合は都府県の21%に対し72%と、大規模で専門的な経営を展開。

●本道の農業・農村は、食料の安定供給といった基本的役割に加え、国土の保全などの多面的な機能を有しており、道が平成9年度に行った調査によると、農業産出額を大きく上回る1兆2,581億円の評価。

●平成23年の北海道の食料自給率は199%(概算値)であるとともに、国産供給熱量の約2割を供給するなど、我が国における食料の安定供給に重要な役割を發揮。

北海道農業・農村の動向

●耕地面積は、毎年減少しており、平成25年は115万1,000ヘクタール。

●認定農業者など担い手への農地の利用集積は年々進展しており、平成25年3月の集積率は86.2%。

●本道農業・農村の農家戸数は、年々減少しており、平成25年の販売農家数は4万戸。また、農業労働力の高齢化も進行しているが、都府県に比べると、若い農業者の割合が高い状況。

●平成24年の農外からの新規参入者は91人で、前年に比べ12名増加。農家子弟を含めた新規就農者の総数は、近年、概ね600人～700人で推移し、平成24年は626人が就農。

●認定農業者は、平成5年の制度創設以来、着実に増加していたが、近年は横ばい傾向にあり、平成25年3月末現在、3万1,410経営体。

●農業生産法人は、毎年増加しており、平成25年1月1日現在、2,834法人。

●コントラクターは、毎年増加しており、平成24年は325組織。

●本道は、気象条件や土壌条件が異なることから、それぞれの地域において特色ある農業を展開。

●農業産出額では、麦類、豆類、いも類、工芸農作物、乳用牛の全国に占める割合が高く、そのうち麦類、豆類などは全国の過半数を占める。

●品目別の生産量(平成24年)では、小麦、ばれいしょ、大豆、小豆、インゲン、ソバ、てん菜、タマネギ、生乳など多くの品目が全国一。

●グリーン農業の推進成果であるYES!clean登録集団数は、平成25年産で55作物、117市町村で延べ397集団と、地域的な広がりも進展。

■北海道農業の全国シェア

区分	単位	北海道(A)	全国(B)	A/B(%)	年次
耕地面積	千ha	1,151	4,537	25.4	25年
販売農家戸数	千戸	40	1,455	2.7	25年
農家人口	千人	157	5,624	2.8	25年
農業就業人口	千人	104	2,390	4.4	25年
農業産出額	億円	10,536	86,104	12.2	24年
国産供給熱量	kcal/人・日	199	940	21.2	23年

*資料:農林水産省「耕地面積調査」、「農業構造動態調査」ほか

■本道と都府県の農業の比較

区分	単位	北海道(A)	都府県(B)	A/B(倍)	年次
一戸当たり経営耕地面積	ha	23.2	1.5	15.5	25年
一戸当たり乳用牛飼養頭数	頭	113.2	50.4	2.2	25年
基幹的農業従事者65歳未満割合	%	67.1	37.1	1.8	25年
主業農家数/販売農家数	%	72.1	20.9	3.4	25年
農業依存度	%	89.5	43.3	2.1	24年

*資料:農林水産省「農業構造動態調査」、「畜産統計」ほか

■北海道農業・農村の多面的機能の評価額(単位:億円)

区分	評価額	内訳
国土保全機能	7,405	洪水防止6,143、土壌浸食防止32、水資源かん養543、大気浄化687
アメニティ機能	4,149	景観保全2,464、保健休養1,044、生態系保全641
教育文化機能	1,027	自然教育1,017、農業実務研修10
計	12,581	

*資料:北海道農政部「農業・農村の多面的機能の評価調査」(10年3月)

■耕地面積等の推移(単位:千ha、%)

区分	H7	H12	H17	H22	H24	H25
耕地面積	1,201	1,185	1,169	1,156	1,153	1,151
田	240	235	228	225	224	224
普通畑	418	414	412	414	414	414
牧草地	540	532	525	514	512	510
担い手への利用集積率	48.5	58.6	79.4	87.5	86.2	—

*資料:農林水産省「耕地面積調査」、北海道農政部調べ

注:担い手は認定農業者及び市町村基本構想水準到達者

■農家戸数、農業就業人口等の推移[販売農家](単位:戸、人、%)

区分	H2	H7	H12	H17	H22	H25
農家戸数	86,704	73,588	62,611	51,990	44,050	40,200
農家人口	376,565	311,711	261,160	211,929	172,779	156,800
農業就業人口	208,965	173,530	152,387	131,491	111,324	104,100
65歳以上率	20.8	25.2	31.2	34.1	34.4	36.1

*資料:農林水産省「世界農林業センサス」、「農業構造動態調査」

■新規就農者の推移(単位:人)

区分	H7	H12	H17	H22	H23	H24
新規学卒就農者	417	343	331	302	309	223
Uターン就農者	53	192	267	337	290	312
新規参入者	31	64	55	61	79	91
計	501	599	653	700	678	626

*資料:北海道農政部調べ

■認定農業者数、農業生産法人数の推移(単位:人、%)

区分	H7	H12	H22	H23	H24	H25
認定農業者	3,659	13,481	32,823	32,304	31,763	31,410
農業生産法人	1,559	1,794	2,642	2,649	2,770	2,834

*資料:北海道農政部調べ

●販売農家一戸当たりの農業所得は、平成24年は593万円と前年から増加。他方、近年、農業所得率は低下傾向にあり、平成24年は24.6%。

●経営部門別の農業所得は、水田作経営と酪農経営は増加したが、畑作経営は減少。所得率は、水田作経営は増加したものの、畑作経営と酪農経営は悪化。

●近年、道内各地において、地元のこだわりの農産物を地域内で加工し、農産物の付加価値を向上させる地域内発型の取り組みが増加。

●6次産業化等の推進により、道内における農業生産関連事業体数は、平成24年現在で3,300件。

■コントラクター数の推移(単位:組織)

H3	H8	H12	H17	H22	H23	H24
20	48	94	229	311	316	325

*資料:北海道農政部調べ

■YES!clean登録集団の推移(単位:集団数)

区分	H12	H17	H22	H23	H24	H25
作物数	8	47	53	54	54	55
市町村数	8	104	115	115	116	117
延べ集団数	11	244	376	382	390	397
延べ生産者数	975	8,851	11,455	11,659	11,811	11,863

*資料:北海道農政部調べ

■農業経済の動向(単位:千円、%)

区分	H7	H12	H17	H22	H23	H24
農業所得	4,236	3,204	5,150	6,026	5,812	5,934
総所得	8,393	7,695	6,551	7,482	7,196	7,359
農業所得率	31.1	23.2	28.3	26.3	24.8	24.6

*資料:農林水産省「農業経営統計調査」

*注:平成16年以降は、農業補助金や共済金等が農業所得に計上されている

平成26年度農政部の重点取り組み事項

農業・農村を取り巻く環境

農業従事者の減少・高齢化、TPPなど農業国際交渉、安全・安心な食へのニーズの高まり、農村の活力低下等

国の農政の大転換

農林水産業・地域の活力創造プランの策定

農地中間管理機構の創設、経営所得安定対策の見直し、水田フル活用と米政策の見直し、日本型直接支払制度の創設

第4期北海道農業・農村振興推進計画 ～すつと愛され、輝きを増す北海道農業・農村をめざして～

—北海道農業の持つ「3つの価値(力)」を最大限に引き出す施策の展開—

<p style="text-align: center; background-color: #4CAF50; color: white; padding: 2px;">基本価値 (生産力)の強化</p> <p style="font-size: small;">日本の食を支える持続的な農業の実現</p> <p style="font-size: small;">【担い手と優良農地の確保】 (新) 新規就農者の受入広域指導体制の強化 (新) 地域農業を担う農業生産法人の育成・確保 (新) 女性農業者が活躍できる環境づくり (新) 担い手への農地集積集約化を加速する「農地中間管理機構」の整備 ● 農業生産基盤整備の推進</p>	<p style="text-align: center; background-color: #4CAF50; color: white; padding: 2px;">付加価値 (競争力)の創出</p> <p style="font-size: small;">農業の付加価値向上と関連産業の発展による所得と雇用の創出</p> <p style="font-size: small;">【6次産業化と輸出の促進】 (新) 関連産業等とのネットワークによる6次産業化の取り組みに必要な施設等の整備支援 (新) 農業者等を対象とした輸出に関するサポート体制の構築</p>	<p style="text-align: center; background-color: #4CAF50; color: white; padding: 2px;">【食料の安定供給と持続可能な農業の推進】</p> <p>● 米の高品質化と省力・低コスト生産の推進 ● 道産小麦の付加価値向上と地産地消の推進 (新) 経営全般をサポートする「酪農経営ヘルパー」の育成 ● グリーン農業・有機農業の普及拡大 (新) 地産地消・食育の推進 ● 流通・加工施設等の整備促進</p>
<p style="text-align: center; background-color: #4CAF50; color: white; padding: 2px;">多面的価値 (地域力)の発揮</p> <p style="font-size: small;">農業・農村の多面的機能の発揮や農村集落の活性化</p> <p style="font-size: small;">【農業・農村の多面的機能の維持・強化】 (新) 農業・農村の多面的機能を支える地域活動、農業生産活動の継続、環境保全の効果の高い営農を支援(日本型直接支払制度)</p>	<p style="text-align: center; background-color: #4CAF50; color: white; padding: 2px;">【都市と農村の共生・対流の促進】</p> <p>● 農村の豊かな資源を観光や教育、健康等に活用する地域の手づくり活動の促進 (新) ロボット農作業機などICT技術の実用化・普及の推進 (新) 植物工場など次世代施設園芸の普及推進 【付加価値の高い農産物の導入促進】 (新) 薬用作物の生産拡大</p> <p style="text-align: center; background-color: #4CAF50; color: white; padding: 2px;">【再生可能エネルギーの導入促進】</p> <p>● 農業水利施設を活用した小水力発電施設の導入等に向けた取り組みの促進</p>	

北海道農業・農村の持つ潜在力のフル発揮による 食料自給力の向上と食の総合産業の形成